

喜志小だより

平成30年9月号
富田林市立
喜志小学校

メイク・ハート



史上初の・・・

校長 西山 正人

100回目を迎えた夏の高校野球選手権大会は、北大阪代表の大阪桐蔭高校の優勝で幕を閉じました。昨年夏の大会で、9回2アウトからのエラーで逆転負けをした同校。エラーをした選手は主将として、マウンドにいた投手はエースとして、春の選抜大会でも優勝しています。そして、史上初という2度目の春夏連覇をめざしての挑戦でした。

大阪府の予選では、大差で勝つ試合もありましたが準決勝では、9回2アウトで1点負けているという状況まで追い込まれながらの逆転勝利もあり、さすがに地力のあるチームとなっていました。選手権に入ってから堅実な攻守で、1戦1戦勝ち上がっていききました。地元大阪の学校ということで、応援に力が入っていた方も多いのではないかと思います。

一方、決勝戦の相手校は金足農業という秋田県の公立高校でした。第1回大会で決勝に進出した秋田中以来の秋田代表の躍進です。(103年振り!)過去に東北地方の代表が優勝したことが無いということもあり、地元の盛り上がりはものすごく、新聞の「号外」まで出していたようです。秋田県の予選から、先発メンバーの9人だけで試合をしてきたことや全試合をエースが1人で投げ通していることなどもあり、勝ち進むにつれて甲子園の観客も味方になっているようでした。

100回の記念大会ということで、例年以上に注目されていた高校野球。猛暑の中行うことについての是非については意見が分かれていましたが、高校球児たちの奮闘に心を熱くしながら応援していました。試合後の様子を伝えるスポーツ番組や新聞で、いろいろなチームのことを取材していましたが、よく耳や目にしたことが「感謝の言葉」と「仲間への思い」でした。自分の力を過信するのではなく、ここまでくるのを支えてくれた方々に思いを寄せることができる高校生。一緒に練習に取り組んできた仲間、苦しい時に力を合わせて乗り越えた仲間、1つのポジションを争った仲間、かけがいのない時間を過ごした経験は何物にもかえがたいのではないのでしょうか。きっと心も身体も成長していたことと思われま。

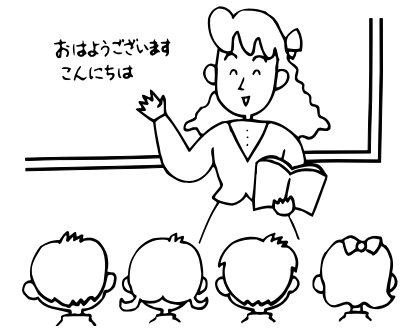
残暑の中、長い2学期が始まります。甲子園大会まではいかないかもかもしれませんが、子ども達にとってはかけがいのない時間です。子ども達の背中をそっと押していただいたり、見守っていただいたりしながら、家庭や地域と学校が連携していけたらと思っています。

2学期もよろしくお願いします。

☆新しい先生が仲間入り

2年2組担任の河村と家庭科や少人数(5年)を担当していました山本が、産休に入ることになりました。それにともない、2年2組の担任に支援補助をしていた比嘉洋子が入ることになりました。その結果、2人の新しい先生が着任することになりました。

家庭科や少人数を竹口敏子が、支援補助を山口有美子が担当することとなります。よろしくお願いします。



☆夏休み作品展について

例年、2学期当初に体育館で行っていた「夏休みの作品展」ですが、今年は体育館の工事の関係で変更を余儀なくされています。見学いただける時間帯は、子ども達が下校した後の13:30から16:30となります。場所が下記の通り分かれてしまいますが、ご覧いただけたらと思います。

○絵画や工作等の作品・・・低学年：図書室、中学年：家庭科室、高学年：図工室

○自由研究(4~6年)・・・当該クラスの教室・ろうか

通用口(小さな門)が開いていなくても、インターホンを押してくだされば中から開けさせていただきます。IDカードの着用にご協力をお願いします。

☆福祉共育に取り組んでいきます

裏面の行事予定にも出ていますが、各学年で福祉共育に取り組んでいきます。喜志小学校では9月を人権学習月間に設定し、いろいろな体験を通して障がいそのものや障がい者との関わりについて学びます。1・2年生は「手話体験」、3年生は「車いす体験」、4年生にな

ると「点字」、5年生は「アイマスク体験」、6年生が「高齢者疑似体験」となっています。実際に手話サークルの方などに来ていただきお話を聞いたり、体験の指導をしていただいたりする学年もあります。

手助けが必要なときに自然に手を差し伸べるためには、障がいを知ることが何より大切です。障がい理解学習も行っていくことで、子ども達がちがいを認めつつ、障がいの有無に関係なく関われるようになってもらいたいと考えています。



☆喜志小ギャラリー



昨年度の3年生が描いた「寺内町の風景」と5年生が描いた「稲刈り」の絵が、近鉄の高架工事のための仮設のフェンスに掲示されています。コントラストがはっきりしていて、とてもきれいです。お近くを通られる時に、ぜひご覧ください。

また、子ども達は自分の絵を「カンバッジ」に加工したものをいただきました。世界に一つだけのオリジナルバッジです。よい記念となりました。